

令和 7 年 3 月 21 日

小笠原村立学校長 殿

小笠原村教育委員会事務局

教育課長 持田 憲一

(公印省略)

令和 7 年度 授業改善推進プランの提出について (通知)

小笠原村教育委員会では、各学校が児童・生徒一人一人の実態を把握し、適切な指導と評価に生かせるよう令和 7 年度は、4 月 24 日(木)に村独自に学力調査を行います。当該調査の結果並びに日常の各種教育活動における児童・生徒の観察等から総合的に分析し、児童・生徒一人一人のニーズに応える適切な教育的支援を行うに資する授業改善推進プランの作成を依頼します。

記

1 目的

現行学習指導要領が定めるところに基づき、日々の授業改善を通して、児童・生徒一人一人のニーズに応える個別最適な学びの実現を目指した授業を村立学校全体で取り組めるようにするため。

2 提出書類

授業改善推進プラン【別紙 1】

3 様式等

【別紙 1】及び【別紙 2】の様式とする。

なお、各項目への記載内容等については、「5 留意点」の内容及び【別紙 1】及び【別紙 2】を参照すること。

4 提出方法及び期限

(1) 提出方法

小笠原村教育委員会事務局教育課長宛電子メールによる。

(2) 提出期限

令和 7 年 9 月 30 日(火) 正午まで

(3) 提出先

shidou@vill.ogasawara.tokyo.jp

5 留意点

(1) 【別紙 1】について

校長の責任のもと、校長名で作成してください。各項目に記載する事項については、各校教育課程及び学校経営方針等との明確な関連を示してください。

なお、【別紙２】が【別紙１】に基づいて作成されることに鑑み、管理職は年度当初より【別紙１】の計画的な作成に努めてください。特に、【別紙１】の内容に関する所属教員への管理職による共有を待たずに【別紙２】の作成指示を出すことがないように十分に留意してください。

(2) 「令和６年度の取り組み状況に関する総括」について

校長が、令和６年度中に実施した学校評価、各種学力調査、体力・運動能力調査、各種アンケート等の結果から分析した自校の現状について具体的数値等を挙げながら述べるとともに、過年度の授業改善推進プランの実施状況及び実施による成果と課題について、学校長の立場から具体的な事例をもとに記載してください。特に過去２年以上継続している課題がある場合については、その教科等を明らかにしながら当該教科の課題とそれに対応する改善策等を具体的に記載してください。その際、領域等で課題を示す場合には、学習指導要領を根拠とした表現を用いてください。

(3) 授業改善に向けた取組について

小笠原村教育委員会教育目標の実現並びに主要教育施策の推進のための授業改善に関する取組の重点について、学校全体で組織的に取り組む事項等を具体的に記載してください。特に過去２年以上継続している課題がある場合については、改善のための具体的な方策についても明記してください。その際、表記は、教育課程及び学校経営方針等で使用している文言及び内容に準ずるようご注意ください。

(4) 各教科等における授業改善プラン

各学年の各教科等における個別の授業改善推進プランについては、【別紙２】において作成してください。その際、校長が作成した【別紙１】の内容に則した記載内容となるようご指導ください。

なお、当該学年・教科等の課題、改善方策や検証方法等の内容については、小笠原村立学校の教員配置状況に鑑み、その妥当性を担保するために組織的に内容を精査するようご注意ください。

(5) 公開について

２学期始業式以後に実施する保護者会等において、本プランの実施状況及び授業改善の具体的な取組状況を管理職より保護者へ報告する機会を設定してください。その際、【別紙１】の内容について必ず取り上げてください。

注１：【別紙１】は、本通知所定の手続きを終えた後、各校及び村役場ホームページ内に公開するため、ペーパーレスの配慮から紙面配布は行わないよう留意してください。

注２：【別紙２】は、次年度の授業改善に向けた方策等を含むことから、保護者への報告等は、年度末の学校ホームページでの公開に替えることを可とします。

(6) 記載内容について

全ての項目における表記において、児童・生徒個人が推察されることのないよう十分留意するとともに、提出及び公開に際しては、組織的にその記載内容や表記の適切性を精査してください。

以上

【担当】

小笠原教育委員会事務局教育課 併任指導主事 兵頭 圭太
電話：２－３１１７ mail：shidou@vill.ogasawara.tokyo.jp